



すべての僕が沸騰する

Murayama Tomoyoshi 村山知義の宇宙 Get All of Me Seething

2012年2月11日[土・祝]—3月25日[日]

神奈川県立近代美術館 葉山
The Museum of Modern Art, Hayama

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色 2208-1 tel. 046-875-2800
2208-1 Isshiki, Hayama, 240-0111 Kanagawa <http://www.moma.pref.kanagawa.jp>



The Museum of
Modern Art,
Kamakura &
Hayama
神奈川県立近代美術館

開館時間 午前9時30分—午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 月曜日

観覧料 一般 1,000(900)円/20歳未満と学生 850(750)円/65歳以上 500円/高校生 100円
()内は20名以上の団体料金です。中学生以下、障害者手帳をお持ちの方は無料です。

主催 神奈川県立近代美術館/読売新聞社/美術館連絡協議会

協賛 ライオン/清水建設/大日本印刷/損保ジャパン/日本テレビ放送網

助成 公益信託タカシマヤ文化基金/公益財団法人 野村財団



「犯罪人 第一幕」(部分/出典:『近代劇全集 独逸編』1931)

《少女エルズベットの像》1922 キャラリー-TOM 『マヴォ』12号 表紙 1924 京都国立近代美術館

「リボンときつねとごままりと月」原画(部分) 1926 婦人之友社 『構成派研究』表紙(部分) 1926

住谷登根、岡田龍夫、高見沢路直「踊り」1924 村山知義のアトリエにて(出典:『マヴォ』13号 1924)

自由学園で踊る村山知義 1923(出典:『中央美術』1923年7月)

「こくまさんの家族」原画(部分) 1927 婦人之友社

《コンストラクチオン》1925 東京国立近代美術館

すべての僕の情熱と思索と小唄と哲学と絶望と病気とは
表現を求めようとして具象されようとして沸騰する ——

村山知義『過ぎゆく表現派』『中央美術』1925年4月

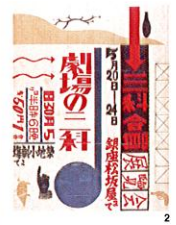
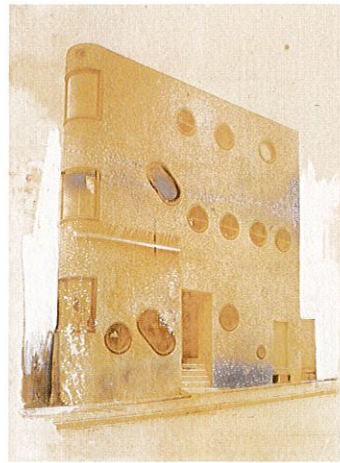
20世紀の初めに生を享け、ベルリンでダダや構成主義などの新興芸術を吸収して1923年に帰国、まもなく「マヴォ(Mavo)」や「三科」といったグループの活動を通じて大正末期から昭和初期にかけて日本の近代美術に決定的な影響を与えた村山知義(1901-1977)。物体を貼り込んだ造形作品や、トランスジェンダーなダンスパフォーマンスなど、ジャンルを横断した目覚ましい活動は、同時代に多くの共感者を生み出しました。

本展は、1920年代に展開された美術の仕事を中心に、その時代背景を伝える国内外の作品・資料を参照しながら村山知義の宇宙的な多様性を紹介する、初めての大規模な個展です。

油彩、コラージュ、版画等の希少な現存作品や雑誌『マヴォ』を一堂に集めるほか、自ら設計し新興芸術運動の拠点となった自邸兼アトリエ「三角の家」をはじめとする建築と室内装飾、『朝から夜中まで』(1924/1926再演:築地小劇場)に代表される舞台美術、ポスターや装幀、商業美術のデザインなど、その多彩な仕事の全貌を記録資料とともに紹介。村山知義がドイツ滞在時に大きな影響を受けたカンディンスキーやクレー、活動を共にした和達知男や永野芳光の作品も展示します。

さらに、『子供之友』などの児童雑誌を中心に発表された、子どものためのイラストレーションの仕事と、その原画を多数紹介。詩人・児童文学者の妻、壽子(1903-1946)の文章をはじめとする数多くの児童文学に添えられた洒落なイラストは、10代から晩年まで挿絵作家「Tom」として活躍し、いまなお瑞々しい魅力を放ち続ける村山知義のもうひとつの面をみせてくれます。

村山知義が夢みた全方位的な創造力の開放、沸騰の軌跡を検証する本展を、ぜひご覧ください。



【関連企画】

オープニング・レクチャー「村山知義への招待」

講師:池内紀氏(独文学者・エッセイスト)
日時:2012年2月11日[土・祝] 午後1時-2時30分
会場:神奈川県立近代美術館 葉山 講堂
定員:70名[要申込、先着順] 無料

パフォーマンス・イベント 「新・劇場の三科1925→2012」

出演[予定]:巻上公一、やなぎみわ、フォルマント兄弟、酒井幸菜
日時:2012年3月3日[土] 午後6時-8時
会場:神奈川県立近代美術館 葉山 展示室 ※詳細は美術館HPをご覧ください。

担当学芸員によるギャラリートーク

2012年2月12日[日]、3月4日[日] 午後3時-4時
申込不要、無料(ただし観覧券が必要です)

※その他の関連企画につきましては美術館HPをご覧ください。



【ファミリー・コミュニケーションの日】

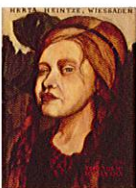
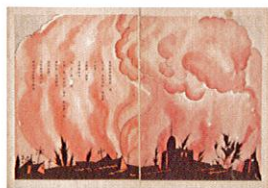
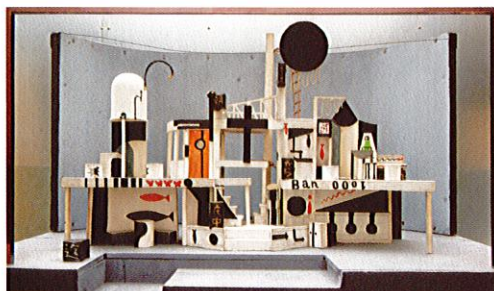
毎月第1日曜日(今回は3月4日)は、18歳未満のお子様連れのご家族は、優待料金(65歳以上を除く)でご観覧いただけます。

【優待のご案内】

本展有料観覧券(65歳以上券、高校生券を除く)の半券ご提示で、本展会期中に限り、下記の施設に優待料金でご入場いただけます。
神奈川県立近代美術館 鎌倉 [tel.0467-22-5000] 葉山しおさい公園 [tel.046-876-1140]
山口運春記念館 [tel.046-875-6094]

【同時開催】

神奈川県立近代美術館 鎌倉
「生誕100年 藤牧義夫展」1月21日[土]-3月25日[日]
神奈川県立近代美術館 鎌倉別館
「開館60周年 日本画 ザ・ベスト・コレクション」[後期]
1月31日[火]-3月25日[日]



1「山の手美容院(吉行あくり美容院)」市ヶ谷 1929 2「劇場の三科/三科会員展覧会」ポスター 1925 ギャラリーTOM
3 村山知義と壽子 赤坂・吳経ロビーで 1924(出典:『村山知義と美術』上巻) 1971
4「朝から夜中まで」(1926再演)舞台装置模型 1960 ギャラリーTOM(撮影:木奥恵三) 5「サティスディッシュな空間」1922/23 京都国立近代美術館
6「子供之友 東京の地震と火事」1923 ギャラリーTOM 7「母親になったモダンガール」原画 1927頃 ギャラリーTOM
8「ヘルタ・ハインツェ像」1922/24 神奈川県立近代美術館寄託

【交通案内】

- 公共交通機関利用の場合:JR横須賀線「逗子」駅前(3番のりば)または京浜急行「新逗子」駅前(南口2番のりば)から京浜急行バス「海岸回り(逗11、12系統)」で「三ヶ丘・神奈川県立近代美術館前」下車(所要時間18分)
- 横浜横須賀道路利用の場合:逗子インターチェンジから逗葉新道経由(7.6km)または横須賀インターチェンジから県道27号横須賀葉山線経由(7.2km)

【葉山館駐車場のご案内】

- 営業時間:午前8時30分-午後6時(入庫は午後4時30分まで)
- 料金[1時間]:普通車400円/大型バス1,200円
- 観覧券をお持ちの方は1時間無料となります。
- レストランやショップで2,000円以上ご利用頂いた方は1時間無料となります。貸切バス等(定員11名以上)でご来館の場合、駐車場の事前予約および前面道路の通行許可申請が15日前までに必要です。団体名、連絡先、来館日時、台数をご連絡ください。[tel.046-875-2800]

